

議会日誌

2月	
28日	平成20年第1回定例会（～3月17日）
4月	
3日	議会広報常任委員会
9日	議会運営委員会
10日	市内公共施設視察研修（入間東部広域斎場・東台小学校・鶴ヶ岡複合施設）、議会広報常任委員会
5月	
20日	平成20年第2回定例会招集告示
26日	議会運営委員会
30日	平成20年第2回定例会（予定）

次の定例会の予定は

5月30日～です

第2回定例会の**請願締め切り**は、**5月20日午前10時**です。

傍聴をお待ちしています



市民一人ひとりの意識改革を望む

辻 哲郎さん（東久保）

ふじみ野市が誕生して2年、役所の組織、各種団体の統合が、見かけ上はスムーズに運んでいるが、中身はいろんなところで問題が起きている。人々の気持ちの中には大井・上福岡地域の不協和音がいまだうごめいている。そのため行政の機能、団体の活動が合併の効果を発揮していないように思える。早く相互理解が進むよう、行政が手本を示し、指導力を発揮するとともに、市民一人ひとりの意識改革を望みたい。

市民の声

みんな元気で長生きを

奥野ミチさん（亀久保）



マネー支配による格差と貧困が世界に広がるのは、戦争への暗い序曲。ふじみ野市役所に「核兵器廃絶 平和都市宣言」の垂れ幕を掲げてほしいと、切に思います。軍事費を平和な暮らしに回すこと…63年前のアジア諸国への侵略戦争体験者として心からお願い申し上げます。また、この4月から実施された「後期高齢者医療制度」の廃止を、ぜひとも進めていただきたい。

みんな元気で長生きを願っています。この気持ちを分かしてほしいです。

編集後記

議会開会前に議会広報常任委員会が開かれ、議案を見ながら、どういう紙面構成にするか話し合い、任務分担を行なう。ところが議会は、「生きもの」。議論のなりゆきで、編集委員会の想定外の展開があり、議会終了後に緊急会議。住民にとって「議会で何が議論されたか分かりやすく書くこと」を再確認した。その成果はいかに？

三月議会は新年度を控えての議会だった。定年で退職する職員や、今まで「遠距離介護」だったが、そばにいたい」と、親の介護のために退職する方もいた。年離れた親を介護することは大変。また、介護施設に働く人が、一年間で五人に一人やめていくという実態もある。高齢者をめぐる新制度がスタートして一カ月の時に、この議会だよりが発行される。どんな「想定外」が起きているか…？

議会広報常任委員会

委員長	小峰 敏彦	副委員長	堀口 修一
委員	田村 法子	委員	前原かづえ
委員	岩崎 公夫	委員	小高 時男
委員	五十嵐正明	委員	小川 愛子



市議会議員の時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。